

浜の活力再生プラン (第2期)

1 地域水産業再生委員会 (ID: 1 1 2 4 0 0 3)

組織名	境港市地域水産業再生委員会
代表者名	会長 景山一夫

再生委員会の構成員	鳥取県漁業協同組合境港支所、鳥取県機船まき網漁業組合、鳥取県かにかご漁業組合、鳥取県沖合いかつり漁業協会、一般社団法人境港水産振興協会、境港魚市場株式会社、漁業協同組合JFしまね境港支所、境港鮮魚仲買協同組合、鳥取県境港水産事務所、鳥取県水産試験場、鳥取県栽培漁業センター、学識経験者、鳥取県水産課、境港市
オブザーバー	なし

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>○鳥取県境港市(鳥取県漁業協同組合境港支所、鳥取県機船まき網漁業組合、山陰旋網漁業協同組合、鳥取県かにかご漁業組合、鳥取県沖合いかつり漁業協会)</p> <p>○小型底びき網漁業(20経営体)、刺網漁業(8経営体)、一本つり漁業(24経営体)、採介藻漁業(4経営体)、養殖漁業(1経営体)、大中型まき網漁業(2経営体、3船団)、べにずわいがに漁業(2経営体、3隻)、中型いかつり漁業(1経営体、2隻)、沖合底びき網漁業(3経営体、3隻)</p>
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>鳥取県西端に延びる弓ヶ浜半島と島根半島に囲まれた境水道は古くから天然の良港として利用され、昭和48年(1973年)に特定第3種漁港の指定を受け、その背後に現存の卸売市場が整備され、日本海沖合漁業の中核基地として全国的な水産物の生産・流通の拠点を担ってきた。</p> <p>現在、境漁港を基地とする漁業は、まき網漁業、かにかご漁業、沖合底びき網漁業、いかつり漁業等の沖合漁業を中心として、平成29年の水産物取扱量は128,437t、取扱金額は20,756百万円となっている。</p> <p>魚種別には、まき網漁業によるアジ、サバ、イワシ類、かにかご漁業によるベニズワイガニが漁獲の多くを占めているが、各種沿岸漁業も含め、春にはサヨリ、メバル、カレイ類、夏には本マグロ(クロマグロ)、白いか(ケンサキイカ)、スズキ、イワガキ、秋にはハタハタ、シラス(イワシ類稚魚)、サワラ、冬には山陰の冬の味覚の王様である松葉がに(ズワイガニ)、ブリ、スルメイカ等、四季折々、多種多様な水産物の水揚げがなされている。特に、夏のクロマグロや禁漁期を除く9月から翌年6月までの10ヶ月間水揚げされるベニズワイガニは、長年水揚量日本一を記録している。</p> <p>境港においては、平成23年12月に市場関係者や地元関係者、行政で構成される「さかいみなど漁港・市場活性化協議会」を立ち上げ、漁港・市場を中心とした境港の活性化に向けた検討を行ってきた。取組の視点として「漁港」、「市場」、「食と観光」の3つを定め、ワーキンググループにて具体的な取組内容を議論し、「社会に信頼され、活力があり、親しまれる漁港・市場」を将来のあるべき姿とした「さかいみなど漁港・市場活性化ビジョン」を作成、また、国が進める特定漁港漁場整備事業計画により、平成35年度まで</p>
--

の整備内容を計画し、境港ならではの高い水揚機能に加え、輸出対策に対応した高度な衛生管理体制を兼ね備えた市場整備や活力ある産地づくりを進め、日本一の魅力あふれる漁港・市場を目指している。

(2) その他の関連する現状等

宮城県女川町の三陸海岸のギンザケ養殖業が東日本大震災で被災したため、かつてギンザケの養殖業が行われていた美保湾での事業化の可能性を検討しようと、民間事業所が鳥取県と境港市の財政支援を受けて平成23年12月から海面養殖業に取り組んでおり、平成27年3月には、境港市に本社兼加工場を整備した。ギンザケ養殖から加工販売まで一貫した生産体制となり、地元を含め西日本でもギンザケが流通し、新たな特産物となった。ギンザケ養殖の生産規模拡大に伴い、地元雇用が増加し、稚魚生産を担う県内内水面養殖業者の事業規模、雇用も拡大した。さらに、大規模沖合養殖システム（大規模な自動給餌システム）の海洋実証試験が実施され、マサバやイワガキの養殖にも着手する等、更なる生産規模の拡大に繋がっている。

他地域に所属していた沖合底びき網漁船が3隻、平成29年、30年に鳥取県漁業協同組合境港支所へ新しく加入した。

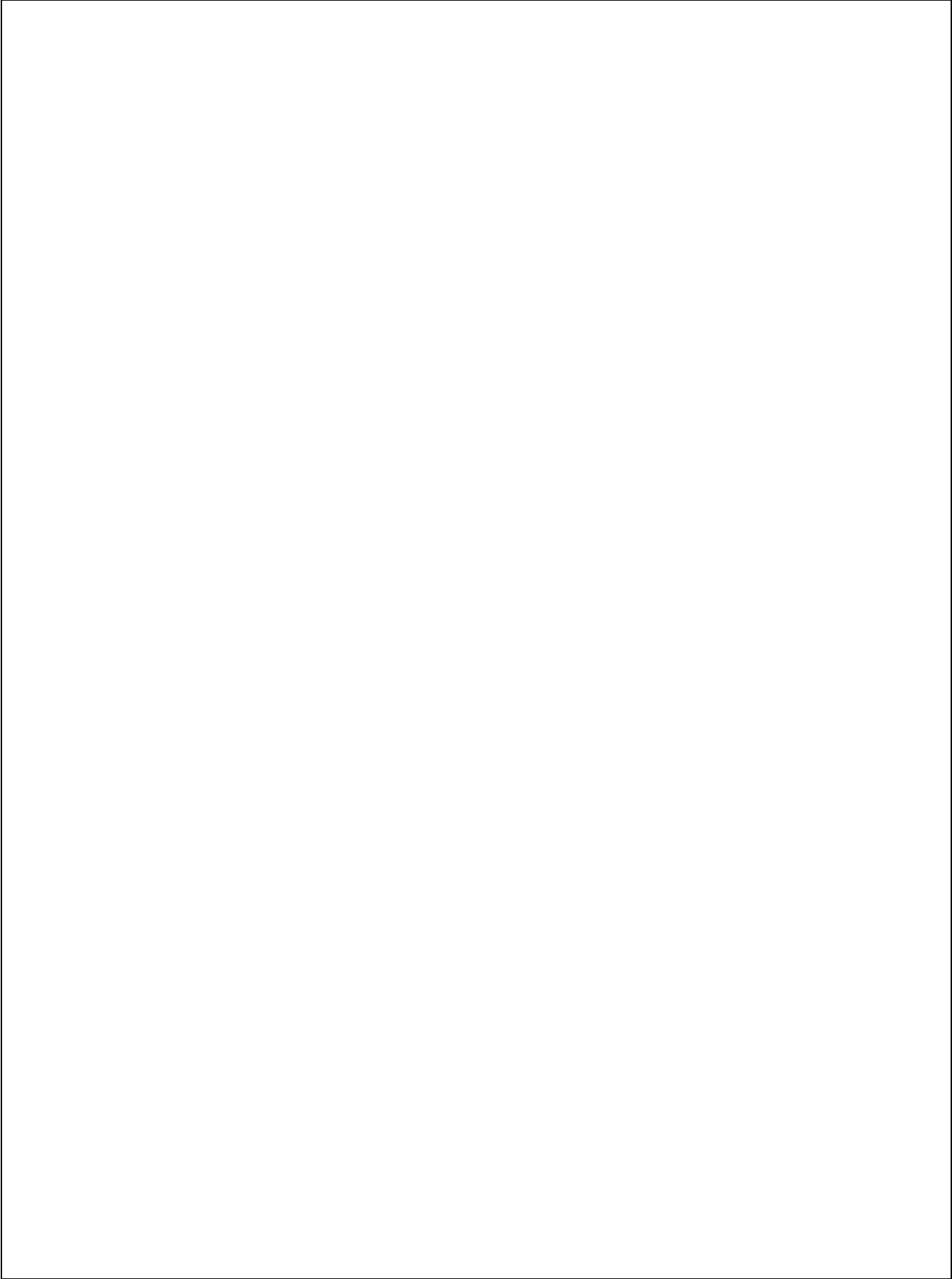
境港における水産物輸出は、かつては冷凍イワシを中心にフィリピン、マレーシア等へ年間約1～3万トン輸出されていたが、マイワシ資源の衰退により輸出量は大きく減少した。近年は冷凍魚を中心に、韓国、中国、ベトナム等への輸出がなされている。

鳥取県漁協が所有する冷凍冷蔵施設は整備から40年以上が経過し、保管能力が落ち込んでいるため、豊漁時等の鮮魚保管機能が不足している。また、冷媒としてフロンを使用しているため、継続が困難になっている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

【漁業所得向上のための取り組み】

関係者が今後の境港のあるべき姿について意見を集約し、平成25年3月に策定された「さかいみなど漁港・市場活性化ビジョン」を基本とし、浜の活性化に向けた具体的な取り組み内容を再整理した結果、主に次のような内容について取り組むこととした。

- ① 周辺環境の整備（高度衛生管理型漁港・市場整備、漁場環境の改善、生産力の向上など）
- ② 水揚物の付加価値向上（産地一次加工の推進、境港ブランドの創出、6次産業化の推進など）
- ③ 水産物の販路拡大（活魚出荷の推進、新規販路開拓など）
- ④ 観光分野との連携（水産物直売施設及び市場見学ツアーの充実など）
- ⑤ 食育・魚食普及活動の推進（学校給食等での活用、イベント等の開催など）
- ⑥ 漁船の代船建造（改革型漁船の導入）

【漁業コスト削減のための取り組み】

- ① 燃料費コスト削減（減速航行、船底清掃など）
- ② 省エネエンジン、省力漁労機器の導入

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

特になし

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成31年度）

以下の取組により漁業所得を基準年対比16.0%向上させる。

漁業所得向上のための取組	<p>以下の取組により漁業収入を基準年に比べ3.9%向上させる</p> <p>【中型いかつり漁業】</p> <p>① 6次産業化</p> <ul style="list-style-type: none">・中型いかつり漁業者は、付加価値向上による魚価向上を目指し、従来から自社加工場で生産していたイカ加工品に加え、さらに手軽に食べられる新商品の検討を行う。 <p>② 代船建造</p> <ul style="list-style-type: none">・いかつり漁業者は、省エネ・高鮮度機能型の漁船の建造を検討する。 <p>【大中型まき網漁業】</p> <p>①産地一次加工販売</p> <ul style="list-style-type: none">・山陰旋網漁業協同組合は、付加価値向上による魚価向上を目指し、アジ、サバ、イワシ等の一次加工機械の導入を検討する。 <p>②クロマグロの料理方法を提案・PRした販売方法の転換（丸→ブロック）</p> <ul style="list-style-type: none">・山陰旋網漁業協同組合と境港水産物直売センター内の仲買と連携を拡大し、小売り向けのマグロをラウンドからブロック出荷に変更し、単価向上を図る。 <p>③ 多目的施設での食の提供・魚食普及</p> <ul style="list-style-type: none">・山陰旋網漁業協同組合は、漁港・周辺観光情報の提供や魚食普及、食の提供等を目的とした「多目的施設」を運営し、インバウンド対応や、バーベキューなどによる食の提供で所得向上を図る。また、料理教室やパネル展示により魚食普及を図る。 <p>④ 缶詰原料の海外輸出</p> <ul style="list-style-type: none">・境漁港に水揚げするまき網漁業の漁獲物は、複数魚種が混獲された状態で水揚げされており、単一魚種でないため養殖用の餌料としてしか扱われず、安価で取引される。そのため、山陰旋網漁業協同組合は、缶詰原料向け輸出魚のサバ、マイワシについて、選別（サイズ、魚種）を行うことにより輸出対象物を増やし、単価向上を図る。また、境港輸出入協議会と協力して輸出促進を行う。 <p>⑤ 継続的なイベントによる魚食普及</p> <ul style="list-style-type: none">・大中型まき網漁業関係者は、現在、境漁港で開催している「まぐろ感謝祭」「水産まつり」などのイベントを、市内の他の観光資源も活用しながら引き続き市等と協力して開催し、魚食普及を推進する。 <p>⑥ 水産物直売施設の改修</p> <ul style="list-style-type: none">・山陰旋網漁業組合は、境漁港に隣接する水産物直売施設の改修を検討及び計画を策定する。 <p>【べにずわいがに漁業】</p> <p>① 代船建造</p> <ul style="list-style-type: none">・べにずわいがに漁業者は、高鮮度ベニズワイの水揚げに繋げるため、建造した省エネ・高鮮度機能型漁船で水揚げの実証試験を実施する。・べにずわいがに漁業者は、省エネ・高鮮度機能型の漁船の建造を検討する。 <p>② 活ガニ出荷の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・一航海（1週間）の最終水揚げ分の一部で基準を満たすものを活魚として出荷し、単価向上を図る。
--------------	--

③ 船名入りタグ付け出荷

- ・船名を記載したタグを作成し、活ガニに取付け、消費者の認知度向上、イメージアップ、単価向上を図る。

④ 継続的なイベントによる魚食普及

- ・べにずわいがに漁業関係者は、現在、境漁港で開催している「カニ感謝祭」などのイベントを市内の他の観光資源も活用しながら引き続き市等と協力して開催し、魚食普及を推進する。

【沿岸漁業】

① 漁場環境の改善及び生産力向上

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の採介藻漁業者は、一文字防波堤周辺のアラメ藻場が形成されていない海域にアラメの母藻を植え付け、藻場拡大によってサザエ、アワビの増産を図る。
- ・小型底びき網漁業者等は産卵期にバイ産卵器を100基設置し、産卵を促進させることでバイの増産を図る。

② 種苗放流

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の小型底びき網漁業者は、ヒラメの種苗を6万尾放流することでヒラメの増産を図る。
- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、アワビの種苗を3千尾放流することでアワビの増産を図る。

③ 新市場整備に伴うヒラメ等の活魚出荷推進

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、新市場を活用して、ヒラメを活魚出荷する。

④ 小型底びき網への新規着業

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所は、就業者フェアなどを通じて新規就業者の確保に努める。

⑤ 刺網への新規着業

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び漁業者は、刺網漁業を主体として、多角的な漁業が操業できる漁船を建造する。

⑥ 代船建造

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及びいかつり漁業者は、建造した冷凍機能型漁船により、効率的な漁業経営の実証試験を行う。

⑦ 継続的なイベントによる魚食普及

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び漁業者は、現在、境港で開催している「漁村市」などのイベントを、市内の他の観光資源も活用しながら引き続き市等と協力して開催し、魚食普及を推進する。

⑧ 生産者と流通・加工業者のタイアップによる未利用資源の活用

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、未利用資源の活用について流通加工業者と協力し、学校給食として食材提供を検討する。

【養殖漁業】

① ギンザケの養殖・加工

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、ギンザケ養殖の生産量を増産する。

② 大山湧水サーモンの養殖

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、継続して大山湧水サーモンを生産する。

③ マサバの養殖

・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、継続してマサバを生産する。

④ 養殖魚の加工販売

・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、養殖魚のフィレーなど加工品を販売する。

⑤ 代船建造

・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、ギンザケ養殖で使用する餌料運搬船の大型化を検討する。

【沖合底びき網漁業】

① 経営指導

・鳥取県漁業協同組合は、平成29年、30年に加入した沖合底びき網漁業者（3隻）に対して、経営指導を行うなどサポート体制を強化し、漁業所得の増加を図る。

【全体】

① 冷蔵庫整備

・鳥取県漁業協同組合境港支所は、沿岸漁業、沖合漁業の漁獲物の保管とあわせて、ギンザケ養殖の増産に対応するため、既存の冷凍冷蔵施設を改修することにより、漁獲物の保管量を増やす。

② 市場見学ツアーの充実

・境港水産振興協会は、主に観光客を対象とした市場見学ツアーを実施する。また、県と協力して、新漁港の魅力ある見学コース、学習室の整備を進め、直売施設や周辺加工施設と協力し、更なる充実を図る。

【鳥取県営境港水産物地方卸売市場整備】

① 高度衛生管理型漁港・市場整備

・陸送上屋、1号上屋の供用を開始する。いかつり及び沿岸漁業者は、供用が開始された高度衛生型荷さばき所及び活魚施設を利用することにより魚価向上を図る。

② 衛生管理・品質管理向上にむけた監視体制、マニュアル作成

・漁業者及び市場関係者は、市場利用協議会で作成した、場内ルール、マニュアルに沿って運用を開始する。

③ 高度衛生管理型市場運営に必要な資機材の導入

・市場関係者は、鳥取県と連携し衛生管理資機材を開発し、段階的移行を開始する。

④ 市場施設内のお魚学習室・調理実習室の整備

・山陰旋網漁業協同組合及び境港水産振興協会は、鳥取県が整備する施設について県と協議の上検討する。

⑤ 漁港・市場を核とした輸出促進

・漁業者及び市場関係者は、鳥取県と連携し、輸出促進に向けた漁港・市場の課題を検証すると共に、海外調査や商談会・物産展への出展を検討する。

⑥ 高度衛生管理型市場 PR

・境港高度衛生管理型市場の一部供用開始に伴い、市場関係者は地元や首都圏で広報・宣伝活動を行うことで、境港に水揚げされる水産物の価格向上を図る。

【漁港の維持管理】

・漁業者は、港内の安全航行並びに出漁日数の確保を図るため、鳥取県に漁港の浚渫・漁港施設の長寿命化対策を要望する。

<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組により漁業コストを基準年に比べ0.2%削減する</p> <p>【全漁業者】</p> <p>① 省燃油活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の漁業者全員が「減速航行の徹底（漁場までの往復の際にエンジンの回転数を8割程度に抑制）」、「係留中の機関の停止」、「不要な網等の積載物の減量」、「定期的な船底清掃（年1回程度）」、「低燃費型船底塗料の塗布」、「漁場探索」といった省燃油活動を実施。 ・漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進し、燃油高騰に備える。 <p>② 省エネエンジン、省力漁労機器の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の漁業者全員が、省エネエンジン、省力漁労機器の導入を検討し、燃油使用量の削減を図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<p>もうかる漁業創設支援事業</p> <p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</p> <p>水産業強化支援事業</p> <p>特定漁港漁場整備事業</p>

以下の取組により漁業所得を基準年対比25.0%向上させる。

<p>漁業所得向上 のための取組</p>	<p>以下の取組により漁業収入を基準年に比べ6.1%向上させる</p> <p>【中型いかつり漁業】</p> <p>① 6次産業化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中型いかつり漁業者は、付加価値向上による魚価向上を目指し、従来から自社加工場で生産していたイカ加工品に加え、さらに手軽に食べられる新商品の試作を行う。 <p>② 代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかつり漁業者は、省エネ・高鮮度機能型の漁船の建造計画を策定する。 <hr/> <p>【大中型まき網漁業】</p> <p>①産地一次加工販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合は、付加価値向上による魚価向上を目指し、アジ、サバ、イワシ等の一次加工品機械の導入、お土産品の検討を行う。 <p>②クロマグロの料理方法を提案・PRした販売方法の転換（丸→ブロック）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合と境港水産物直売センター内の仲買と連携を拡大し、小売り向けのマグロをラウンドからブロック出荷に変更し、単価向上を図る。 <p>③多目的施設での食の提供・魚食普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合は、漁港・周辺観光情報の提供や魚食普及、食の提供等を目的とした「多目的施設」を運営し、インバウンド・外国人観光客への対応や、バーベキューなどによる食の提供で所得向上を図る。また、料理教室やパネル展示により魚食普及を図る。 <p>④缶詰原料の海外輸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合は、養殖用餌料魚と差別化を図るため、缶詰原料向けの輸出魚のサバ、マイワシについて、選別（サイズ、魚種）を行うことにより輸出対象物を増やし、単価向上を図る。また、境港輸出入協議会と協力して輸出促進を行う。 <p>⑤継続的なイベントによる魚食普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大中型まき網漁業関係者は、現在、境漁港で開催している「まぐろ感謝祭」「水産まつり」などのイベントを、引き続き市等と協力して市内の他の観光資源も活用して実施し、魚食普及を推進する。 <p>⑥水産物直売施設の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業組合は、境漁港に隣接する水産物直売施設を改修する。 <p>⑦ 冷蔵庫整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業組合は、所有する冷凍冷蔵施設の改修を検討及び計画を策定する。 <hr/> <p>【べにずわいがに漁業】</p> <p>① 代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・べにずわいがに漁業者は、高鮮度ベニズワイの水揚げに繋げるため、建造した省エネ・高鮮度機能型漁船で水揚げの実証試験を実施する。 ・べにずわいがに漁業者は、省エネ・高鮮度機能型の漁船の建造計画を策定する。 <p>②活ガニ出荷の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一航海（1週間）の最終水揚げ分の一部で基準を満たすものを活魚として出荷し、単価向上を図る。 <p>③ 船名入りタグ付け出荷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船名を記載したタグ活ガニに取付け、消費者の認知度向上、イメージアップ、単価向上を
--------------------------	---

図る。

④継続的なイベントによる魚食普及

- ・べにずわいがに漁業関係者は、現在、境漁港で開催している「カニ感謝祭」などのイベントを引き続き市等と協力して市内の他の観光資源も活用して実施し、魚食普及を推進する。

【沿岸漁業】

①漁場環境の改善及び生産力向上

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の採介藻漁業者は、一文字防波堤周辺においてアラメ藻場が形成されていない海域にアラメの母藻の植え付けを継続し、藻場の拡大させることによりサザエ、アワビの増産を図る。
- ・小型底びき網漁業者等は産卵期にバイ産卵器100基の設置を継続し、産卵を促進させることによりバイの増産を図る。

②種苗放流

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の小型底びき網漁業者は、ヒラメの種苗6万尾の放流を継続し、ヒラメの増産を図る。
- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、アワビの種苗3千尾の放流を継続し、アワビの増産を図る。

③新市場整備に伴うヒラメ等の活魚出荷推進

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、新市場を活用し、ヒラメの活魚出荷量を増加する。

④小型底びき網への新規着業

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所は、就業者フェアなどを通じて新規就業者の確保に努める。

⑤刺網への新規着業

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び漁業者は、刺網漁業を主体とした、多角的な漁業が操業できる漁船で、実証試験を実施する。

⑥代船建造

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及びいかつり漁業者は、建造した冷凍機能型漁船により、効率的な漁業経営の実証試験を行う。
- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び小型底びき網漁業者は、省エネ・高鮮度機能型漁船の代船建造を検討する。

⑦継続的なイベントによる魚食普及

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び漁業者は、現在、境漁港で開催している「漁村市」などのイベントを引き続き市等と協力して市内の他の観光資源も活用して実施し、魚食普及を推進する。

⑧生産者と流通・加工業者のタイアップによる未利用資源の活用

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、未利用資源が多くあることから、流通加工業者と協力し、学校給食として食材を提供する。

【養殖漁業】

① ギンザケの養殖・加工

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、ギンザケ養殖の生産量を増産する。

②大山湧水サーモンの養殖

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、継続して大山湧水サーモンを生産する。

<p>③マサバの養殖</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、継続してマサバを生産する。 <p>④養殖魚の加工販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、養殖魚のフィレーなど加工品を販売する。 <p>⑤代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、ギンザケ養殖で使用する餌料運搬船の大型化計画を策定する。
<p>【沖合底びき網漁業】</p> <p>①経営指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合は、沖合底びき網漁業者に対して、経営指導を行うなどサポート体制を強化し、漁業所得の増加を図る。
<p>【全体】</p> <p>① 境港中冷基地冷蔵庫整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備した冷凍冷蔵施設の使用を開始する。沿岸漁業者、沖合漁業者、養殖漁業者は、冷凍冷蔵施設を利用し、漁獲物の増産を図る。 <p>② 市場見学ツアーの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境港水産振興協会は、主に観光客を対象とした市場見学ツアーを実施する。また、県と協力して、新漁港の魅力ある見学コース、学習室の整備を進め、直売施設や周辺加工施設と協力し、更なる充実を図る。
<p>【鳥取県営境港水産物地方卸売市場整備】</p> <p>①高度衛生管理型漁港・市場整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者及び市場関係者は、鳥取県が引き続き行う高度衛生管理型市場整備に協力する。また、いかつり及び沿岸漁業者は、供用が開始された高度衛生型荷さばき所及び活魚施設を利用することにより魚価向上を図る。 <p>②衛生管理・品質管理向上にむけた監視体制、マニュアル作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者及び市場関係者は、利用協議会で作成した、場内ルール、マニュアルに沿って一部供用開始された高度衛生管理型市場を運用する。また、2号上屋の場内ルール、マニュアルを作成する。 <p>③高度衛生管理型市場運営に必要な資機材の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場関係者は、鳥取県と連携し衛生管理資機材を開発し、段階的移行を開始する。 <p>④市場施設内のお魚学習室・調理実習室の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合及び境港水産振興協会は、鳥取県が整備する施設の内容を鳥取県と検討する。 <p>⑤漁港・市場を核とした輸出促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者及び市場関係者は、鳥取県と連携し、輸出促進に向けた、海外調査・商談会・物産展の出展、加工場の HACCP 対応等の取組を行う。 <p>⑥高度衛生管理型市場 PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境港高度衛生管理型市場の一部供用開始に伴い、市場関係者は、広報、宣伝活動を地元や首都圏で行うことで境港に水揚げされる水産物の価格向上を図る。 <p>【漁港の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、港内の安全航行確保並びに出漁日数の確保を図るため、鳥取県に漁港の堆砂浚

	<p>渫・漁港施設の長寿命化対策を要望する。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組により漁業コストを基準年に比べ0.3%削減する</p> <p>【全漁業者】</p> <p>①省燃油活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の漁業者全員が「減速航行の徹底（漁場までの往復の際エンジンの回転数を8割程度に抑制）」、「係留中の機関の停止」、「不要な網等の積載物の減量」、「定期的な船底清掃（年1回程度）」、「低燃費型船底塗料の塗布」、「漁場探索」といった省燃油活動を実施 ・漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進し、燃油高騰に備える。 <p>② 省エネエンジン、省力漁労機器の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の漁業者全員が、省エネエンジン、省力漁労機器の導入を検討し、燃油使用量の削減を図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<p>もうかる漁業創設支援事業</p> <p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</p> <p>水産業強化支援事業</p> <p>特定漁港漁場整備事業</p>

以下の取組により漁業所得を基準年対比25.6%向上させる。

<p>漁業所得向上 のための取組</p>	<p>以下の取組により漁業収入を基準年に比べ6.3%向上させる</p> <p>【中型いかつり漁業】</p> <p>①6次産業化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中型いかつり漁業者は、付加価値向上による魚価向上を目指し、従来から自社加工場で生産していたイカ加工品に加え、さらに手軽に食べられる新商品を販売する。 <p>②代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかつり漁業者は、省エネ・高鮮度機能型の漁船を建造する。 <hr/> <p>【大中型まき網漁業】</p> <p>①産地一次加工販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合は、付加価値向上による魚価向上を目指し、アジ、サバ、イワシ等の一次加工品、お土産品を販売する。 <p>②クロマグロの料理方法を提案・PRした販売方法の転換（丸→ブロック）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合と境港水産物直売センター内の仲買と連携を拡大し、小売り向けのマグロをラウンドからブロック出荷に変更し、単価向上を図る。 <p>③多目的施設での食の提供・魚食普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合は、漁港・周辺観光情報の提供や魚食普及、食の提供等を目的とした「多目的施設」を運営し、インバウンド・外国人観光客への対応や、バーベキューなどによる食の提供で所得向上を図る。また、料理教室やパネル展示により魚食普及を図る。 <p>④缶詰原料の海外輸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合は、養殖用餌料魚と差別化を図るため、缶詰原料向けの輸出魚のサバ、マイワシについて、選別（サイズ、魚種）を行うことにより輸出対象物を増やし、単価向上を図る。また、境港輸出入協議会と協力して輸出促進を行う。 <p>⑤継続的なイベントによる魚食普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大中型まき網漁業関係者は、現在、境漁港で開催している「まぐろ感謝祭」「水産まつり」などのイベントを、引き続き市等と協力して市内の他の観光資源も活用して実施し、魚食普及を推進する。 <p>⑥水産物直売施設の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業組合は、改修した水産物直売施設の使用を開始し、所得向上を図る。 <p>⑦冷蔵庫整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業組合は、所有する冷凍冷蔵施設を改築する。 <hr/> <p>【べにずわいがに漁業】</p> <p>① 代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・べにずわいがに漁業者は、高鮮度ベニズワイの水揚げに繋げるため、建造した省エネ・高鮮度機能型漁船で水揚げの実証試験を実施する。 ・べにずわいがに漁業者は、省エネ・高鮮度機能型の漁船を建造する。 <p>②活ガニ出荷の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一航海（1週間）の最終水揚げ分の一部で基準を満たすものを活魚として出荷し、単価向上を図る。 <p>③ 船名入りタグ付け出荷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船名を記載したタグを活ガニに取付け、消費者の認知度向上、イメージアップ、単価向上
--------------------------	---

を図る。

④継続的なイベントによる魚食普及

- ・べにずわいがに漁業関係者は、現在、境漁港で開催している「カニ感謝祭」などのイベントを引き続き市等と協力して市内の他の観光資源も活用して実施し、魚食普及を推進する。

【沿岸漁業】

①漁場環境の改善及び生産力向上

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の採介藻漁業者は、一文字防波堤周辺においてアラメ藻場が形成されていない海域にアラメの母藻の植え付けを継続し、藻場の拡大させることによりサザエ、アワビの増産を図る。
- ・小型底びき網漁業者等は産卵期にバイ産卵器100基の設置を継続し、産卵を促進させることによりバイの増産を図る。

②種苗放流

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の小型底びき網漁業者は、ヒラメの種苗6万尾の放流を継続し、ヒラメの増産を図る。
- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、アワビの種苗3千尾の放流を継続し、アワビの増産を図る。

③新市場整備に伴うヒラメ等の活魚出荷推進

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、新市場を活用し、ヒラメの活魚出荷量を増加する。

④小型底びき網への新規着業

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所は、就業者フェアなどを通じて新規就業者の確保に努める。

⑤刺網への新規着業

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び漁業者は、刺網漁業を主体とした、多角的な漁業が操業できる漁船の実証試験を行う。

⑥代船建造

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及びいかつり漁業者は、建造した冷凍機能型漁船により、効率的な漁業経営の実証試験を行う。
- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び漁業者は小型底びき網漁業者は、省エネ・高鮮度機能型漁船の建造計画を策定する。

⑦継続的なイベントによる魚食普及

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び漁業者は、現在、境漁港で開催している「漁村市」などのイベントを引き続き市等と協力して市内の他の観光資源も活用して実施し、魚食普及を推進する。

⑧生産者と流通・加工業者のタイアップによる未利用資源の活用

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、未利用資源が多くあることから、流通加工業者と協力し、学校給食として食材を提供する。

【養殖漁業】

①ギンザケの養殖・加工

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、ギンザケ養殖の生産量を増産する。

②大山湧水サーモンの養殖

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、継続して大山湧水サーモンを生産する。

	<p>③マサバの養殖</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、継続してマサバを生産する。 <p>④養殖魚の加工販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、養殖魚のフィレーなど加工品を販売する。 <p>⑤代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、ギンザケ養殖で使用する餌料運搬船を建造する。
	<p>【沖合底びき網漁業】</p> <p>①経営指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合は、沖合底びき網漁業者に対して、経営指導を行うなどサポート体制を強化し、漁業所得の増加を図る。
	<p>【全体】</p> <p>① 境港中冷基地冷蔵庫整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸漁業者、沖合漁業者、養殖漁業者は、冷凍冷蔵施設を利用し、漁獲物の増産を図る。 <p>② 市場見学ツアーの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境港水産振興協会は、主に観光客を対象とした市場見学ツアーを実施し、新漁港の魅力ある見学コース、学習室を活用した見学メニュー等更なる充実を図る。また、直売施設や周辺加工施設と協力し、更なる充実を図る。
	<p>【鳥取県境港水産物地方卸売市場整備】</p> <p>①高度衛生管理型漁港・市場整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2号上屋の供用を開始する。漁業者及び市場関係者は、鳥取県が引き続き行う高度衛生管理型市場整備に協力する。また、いかつり及び沿岸漁業者は、供用が開始された高度衛生型荷さばき所及び活魚施設を利用することにより魚価向上を図る。 <p>②衛生管理・品質管理向上にむけた監視体制、マニュアル作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者及び市場関係者は、利用協議会で作成した、場内ルール、マニュアルに沿って高度衛生管理型市場を運用する。 <p>③高度衛生管理型市場運営に必要な資機材の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場関係者は、鳥取県と連携し衛生管理資機材を開発し、段階的移行を開始する。 <p>④市場施設内のお魚学習室・調理実習室の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合及び境港水産振興協会は、整備されたお魚学習室・調理実習室を活用した、料理教室等を企画し、魚食普及を推進する。 <p>⑤漁港・市場を核とした輸出促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者及び市場関係者は、鳥取県と連携し、輸出促進に向けた、海外調査・商談会・物産展の出展、加工場のHACCP対応等の取組を行う。 <p>⑥高度衛生管理型市場 PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境港高度衛生管理型市場の供用開始に伴い、市場関係者は、広報、宣伝活動を地元や首都圏で行うことで境港に水揚げされる水産物の価格向上を図る。 <p>【漁港の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、港内の安全航行確保並びに出漁日数の確保を図るため、鳥取県に漁港の堆砂浚渫・漁港施設の長寿命化対策を要望する。
<p>漁業コスト削減</p>	<p>以下の取組により漁業コストを基準年に比べ0.2%削減する</p>

減のための取組	<p>【全漁業者】</p> <p>①省燃油活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の漁業者全員が「減速航行の徹底（漁場までの往復の際エンジンの回転数を8割程度に抑制）」、「係留中の機関の停止」、「不要な網等の積載物の減量」、「定期的な船底清掃（年1回程度）」、「低燃費型船底塗料の塗布」、「漁場探索」といった省燃油活動を実施 ・漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進し、燃油高騰に備える。 <p>②省エネエンジン、省力漁労機器の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の漁業者全員が、省エネエンジン、省力漁労機器の導入を検討し、燃油使用量の削減を図る。
活用する支援措置等	<p>もうかる漁業創設支援事業</p> <p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</p> <p>水産業強化支援事業</p> <p>特定漁港漁場整備事業</p>

以下の取組により漁業所得を基準年対比25.8%向上させる。

<p>漁業所得向上のための取組</p>	<p>以下の取組により漁業収入を基準年に比べ6.8%向上させる</p> <p>【中型いかつり漁業】</p> <p>①6次産業化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中型いかつり漁業者は、付加価値向上による魚価向上を目指し、従来から自社加工場で生産していたイカ加工品に加え、さらに手軽に食べられる新商品を販売する。 <p>②代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかつり漁業者は、省エネ・高鮮度機能型漁船の実証試験を実施する。 <hr/> <p>【大中型まき網漁業】</p> <p>①産地一次加工販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合は、付加価値向上による魚価向上を目指し、アジ、サバ、イワシ等の一次加工品、お土産品を販売する。 <p>②クロマグロの料理方法を提案・PRした販売方法の転換（丸→ブロック）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合と境港水産物直売センター内の仲買と連携を拡大し、小売り向けのマグロをラウンドからブロック出荷に変更し、単価向上を図る。 <p>③多目的施設での食の提供・魚食普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合は、漁港・周辺観光情報の提供や魚食普及、食の提供等を目的とした「多目的施設」を運営し、インバウンド・外国人観光客への対応や、バーベキューなどによる食の提供で所得向上を図る。また、料理教室やパネル展示により魚食普及を図る。 <p>④缶詰原料の海外輸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合は、養殖用餌料魚と差別化を図るため、缶詰原料向けの輸出魚のサバ、マイワシについて、選別（サイズ、魚種）を行うことにより輸出対象物を増やし、単価向上を図る。また、境港輸出入協議会と協力して輸出促進を行う。 <p>⑤継続的なイベントによる魚食普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大中型まき網漁業関係者は、現在、境漁港で開催している「まぐろ感謝祭」「水産まつり」などのイベントを、引き続き市等と協力して市内の他の観光資源も活用して実施し、魚食普及を推進する。 <p>⑥水産物直売施設の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業組合は、水産物直売施設を利用し、所得向上を図る。 <p>⑦冷蔵庫整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業組合は、整備した冷凍冷蔵施設の使用を開始し、魚価向上を図る。 <hr/> <p>【べにずわいがに漁業】</p> <p>①代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・べにずわいがに漁業者は、高鮮度ベニズワイの水揚げに繋げるため、建造した省エネ・高鮮度機能型漁船で水揚げの実証試験を実施する。 ・べにずわいがに漁業者は、省エネ・高鮮度機能型漁船の実証試験を実施する。 <p>②活ガニ出荷の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一航海（1週間）の最終水揚げ分の一部で基準を満たすものを活魚として出荷し、単価向上を図る。 <p>③船名入りタグ付け出荷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船名を記載したタグを活ガニに取付け、消費者の認知度向上、イメージアップ、単価向上
---------------------	--

を図る。

④継続的なイベントによる魚食普及

- ・べにずわいがに漁業関係者は、現在、境漁港で開催している「カニ感謝祭」などのイベントを引き続き市等と協力して市内の他の観光資源も活用して実施し、魚食普及を推進する。

【沿岸漁業】

①漁場環境の改善及び生産力向上

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の採介藻漁業者は、一文字防波堤周辺においてアラメ藻場が形成されていない海域にアラメの母藻の植え付けを継続し、藻場の拡大させることによりサザエ、アワビの増産を図る。
- ・小型底びき網漁業者等は産卵期にバイ産卵器100基の設置を継続し、産卵を促進させることによりバイの増産を図る。

②種苗放流

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の小型底びき網漁業者は、ヒラメの種苗6万尾の放流を継続し、ヒラメの増産を図る。
- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、アワビの種苗3千尾の放流を継続し、アワビの増産を図る。

③新市場整備に伴うヒラメ等の活魚出荷推進

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、新市場を活用し、ヒラメの活魚出荷量を増加する。

④小型底びき網への新規着業

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所は、就業者フェアなどを通じて新規就業者の確保に努める。

⑤刺網への新規着業

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び漁業者は、刺網漁業を主体とした、多角的な漁業が操業できる漁船の実証試験を行う。

⑥代船建造

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及びいかつり漁業者は、建造した冷凍機能型漁船により、効率的な漁業経営の実証試験を行う。
- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び小型底びき網漁業者は、省エネ・高鮮度機能型漁船を建造する。

⑦継続的なイベントによる魚食普及

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び漁業者は、現在、境漁港で開催している「漁村市」などのイベントを引き続き市等と協力して市内の他の観光資源も活用して実施し、魚食普及を推進する。

⑧生産者と流通・加工業者のタイアップによる未利用資源の活用

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、未利用資源が多くあることから、流通加工業者と協力し、学校給食として食材を提供する。

【養殖漁業】

①ギンザケの養殖・加工

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、ギンザケ養殖の生産量を増産する。

②大山湧水サーモンの養殖

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、継続して大山湧水サーモンを生産する。

<p>③マサバの養殖</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、継続してマサバを生産する。 <p>④養殖魚の加工販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、養殖魚のフィレーなど加工品を販売する。 <p>⑤代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、ギンザケ養殖で使用する餌料運搬船の大型化により養殖魚を増産する。
<p>【沖合底びき網漁業】</p> <p>①経営指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合は、沖合底びき網漁業者に対して、経営指導を行うなどサポート体制を強化し、漁業所得の増加を図る。 <p>②代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖合底びき網漁業者は、省エネ・高鮮度機能型の漁船の建造を検討する。
<p>【全体】</p> <p>①境港中冷基地冷蔵庫整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸漁業者、沖合漁業者、養殖漁業者は、冷凍冷蔵施設を利用し、漁獲物の増産を図る。 <p>②市場見学ツアーの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境港水産振興協会は、主に観光客を対象とした市場見学ツアーを実施し、新漁港の魅力ある見学コース、学習室を活用した見学メニュー等更なる充実を図る。また、直売施設や周辺加工施設と協力し、更なる充実を図る。
<p>【鳥取県営境港水産物地方卸売市場整備】</p> <p>①高度衛生管理型漁港・市場整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者及び市場関係者は、鳥取県が引き続き行う高度衛生管理型市場整備に協力する。また、いかつり及び沿岸漁業者は、供用が開始された高度衛生型荷さばき所及び活魚施設を利用することにより魚価向上を図る。 <p>②衛生管理・品質管理向上にむけた監視体制、マニュアル作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者及び市場関係者は、利用協議会で作成した、場内ルール、マニュアルに沿って高度衛生管理型市場を運用する。 <p>③高度衛生管理型市場運営に必要な資機材の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場関係者は、鳥取県と連携し衛生管理資機材を開発し、段階的移行を開始する。 <p>④市場施設内のお魚学習室・調理実習室の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合及び境港水産振興協会は、整備されたお魚学習室・調理実習室を活用した、料理教室等を企画し、魚食普及を推進する。 <p>⑤漁港・市場を核とした輸出促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者及び市場関係者は、鳥取県と連携し、輸出促進に向けた、海外調査・商談会・物産展の出展、加工場の HACCP 対応等の取組を行う。 <p>⑦高度衛生管理型市場 PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境港高度衛生管理型市場の供用開始に伴い、市場関係者は、広報、宣伝活動を地元や首都圏で行うことで境港に水揚げされる水産物の価格向上を図る。 <p>【漁港の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、港内の安全航行確保並びに出漁日数の確保を図るため、鳥取県に漁港の堆砂浚

	<p>渚・漁港施設の長寿命化対策を要望する。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組により漁業コストを基準年に比べ0.3%削減する</p> <p>【全漁業者】</p> <p>①省燃油活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の漁業者全員が「減速航行の徹底（漁場までの往復の際エンジンの回転数を8割程度に抑制）」、「係留中の機関の停止」、「不要な網等の積載物の減量」、「定期的な船底清掃（年1回程度）」、「低燃費型船底塗料の塗布」、「漁場探索」といった省燃油活動を実施 ・漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進し、燃油高騰に備える。 <p>④ 省エネエンジン、省力漁労機器の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の漁業者全員が、省エネエンジン、省力漁労機器の導入を検討し、燃油使用量の削減を図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<p>もうかる漁業創設支援事業</p> <p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</p> <p>水産業強化支援事業</p> <p>特定漁港漁場整備事業</p>

以下の取組により漁業所得を基準年対比26.1%向上させる。

<p>漁業所得向上のための取組</p>	<p>以下の取組により漁業収入を基準年に比べ6.4%向上させる</p> <p>【中型いかつり漁業】</p> <p>①6次産業化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中型いかつり漁業者は、付加価値向上による魚価向上を目指し、従来から自社加工場で生産していたイカ加工品に加え、さらに手軽に食べられる新商品を販売する。 <p>②代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかつり漁業者は、省エネ・高鮮度機能型漁船の実証試験を実施する。 <hr/> <p>【大中型まき網漁業】</p> <p>①産地一次加工販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合は、付加価値向上による魚価向上を目指し、アジ、サバ、イワシ等の一次加工品、お土産品を販売する。 <p>⑤クロマグロの料理方法を提案・PRした販売方法の転換（丸→ブロック）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合と境港水産物直売センター内の仲買と連携を拡大し、小売り向けのマグロをラウンドからブロック出荷に変更し、単価向上を図る。 <p>③多目的施設での食の提供・魚食普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合は、漁港・周辺観光情報の提供や魚食普及、食の提供等を目的とした「多目的施設」を運営し、インバウンド・外国人観光客への対応や、バーベキューなどによる食の提供で所得向上を図る。また、料理教室やパネル展示により魚食普及を図る。 <p>④缶詰原料の海外輸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合は、養殖用餌料魚と差別化を図るため、缶詰原料向けの輸出魚のサバ、マイワシについて、選別（サイズ、魚種）を行うことにより輸出対象物を増やし、単価向上を図る。また、境港輸出入協議会と協力して輸出促進を行う。 <p>⑤継続的なイベントによる魚食普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大中型まき網漁業関係者は、現在、境漁港で開催している「まぐろ感謝祭」「水産まつり」などのイベントを、引き続き市等と協力して市内の他の観光資源も活用して実施し、魚食普及を推進する。 <p>⑥水産物直売施設の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業組合は、水産物直売施設を利用し、所得向上を図る。 <p>⑦冷蔵庫整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業組合は、冷凍冷蔵施設を利用し、魚価向上を図る。 <hr/> <p>【べにずわいがに漁業】</p> <p>①代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・べにずわいがに漁業者は、高鮮度ベニズワイの水揚げに繋げるため、建造した省エネ・高鮮度機能型漁船で水揚げの実証試験を実施する。 ・べにずわいがに漁業者は、省エネ・高鮮度機能型漁船の実証試験を実施する。 <p>②活ガニ出荷の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一航海（1週間）の最終水揚げ分の一部で基準を満たすものを活魚として出荷し、単価向上を図る。 <p>②船名入りタグ付け出荷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船名を記載したタグを活ガニに取付け、消費者の認知度向上、イメージアップ、単価向上を図る。継続的なイベントによる魚食普及
---------------------	--

③ 継続的なイベントによる魚食普及

- ・ベにずわいがに漁業関係者は、現在、境漁港で開催している「カニ感謝祭」などのイベントを引き続き市等と協力して市内の他の観光資源も活用して実施し、魚食普及を推進する。

【沿岸漁業】

① 漁場環境の改善及び生産力向上

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の採介藻漁業者は、一文字防波堤周辺においてアラメ藻場が形成されていない海域にアラメの母藻の植え付けを継続し、藻場の拡大させることによりサザエ、アワビの増産を図る。
- ・小型底びき網漁業者等は産卵期にバイ産卵器100基の設置を継続し、産卵を促進させることによりバイの増産を図る。

② 種苗放流

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の小型底びき網漁業者は、ヒラメの種苗6万尾の放流を継続し、ヒラメの増産を図る。
- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、アワビの種苗3千尾の放流を継続し、アワビの増産を図る。

③ 新市場整備に伴うヒラメ等の活魚出荷推進

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、新市場を活用し、ヒラメの活魚出荷量を増加する。

④ 小型底びき網への新規着業

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所は、就業者フェアなどを通じて新規就業者の確保に努める。

⑤ 刺網への新規着業

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び漁業者は、刺網漁業を主体とした、多角的な漁業が操業できる漁船の実証試験を行う。

⑥ 代船建造

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及びいかつり漁業者は、建造した冷凍機能型漁船により、効率的な漁業経営の実証試験を行う。
- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び小型底びき網漁業者は、省エネ・高鮮度機能型漁船の実証試験を実施する。

⑦ 継続的なイベントによる魚食普及

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所及び漁業者は、現在、境漁港で開催している「漁村市」などのイベントを引き続き市等と協力して市内の他の観光資源も活用して実施し、魚食普及を推進する。

⑧ 生産者と流通・加工業者のタイアップによる未利用資源の活用

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の漁業者は、未利用資源が多くあることから、流通加工業者と協力し、学校給食として食材を提供する。

【養殖漁業】

① ギンザケの養殖・加工

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、ギンザケ養殖の生産量を増産する。

② 大山湧水サーモンの養殖

- ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、継続して大山湧水サーモンを生産する。

③ マサバの養殖

<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、継続してマサバを生産する。 <p>④養殖魚の加工販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、養殖魚のフィレーなど加工品を販売する。 <p>⑤代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合境港支所の養殖漁業者は、ギンザケ養殖で使用する餌料運搬船の大型化により養殖魚を増産する。
<p>【沖合底びき網漁業】</p> <p>① 経営指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県漁業協同組合は、沖合底びき網漁業者に対して、経営指導を行うなどサポート体制を強化し、漁業所得の増加を図る。 <p>②代船建造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖合底びき網漁業者は、省エネ・高鮮度機能型の漁船の建造計画を策定する。
<p>【全体】</p> <p>①境港中冷基地冷蔵庫整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸漁業者、沖合漁業者、養殖漁業者は、冷凍冷蔵施設を利用し、漁獲物の増産を図る。 <p>②市場見学ツアーの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境港水産振興協会は、主に観光客を対象とした市場見学ツアーを実施し、新漁港の魅力ある見学コース、学習室を活用した見学メニュー等更なる充実を図る。また、直売施設や周辺加工施設と協力し、更なる充実を図る。
<p>【鳥取県営境港水産物地方卸売市場整備】</p> <p>①高度衛生管理型漁港・市場整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者及び市場関係者は、鳥取県が引き続き行う高度衛生管理型市場整備に協力する。また、いかつり及び沿岸漁業者は、供用が開始された高度衛生型荷さばき所及び活魚施設を利用することにより魚価向上を図る。 <p>②衛生管理・品質管理向上にむけた監視体制、マニュアル作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者及び市場関係者は、利用協議会で作成した、場内ルール、マニュアルに沿って高度衛生管理型市場を運用する。 <p>③高度衛生管理型市場運営に必要な資機材の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場関係者は、鳥取県と連携し衛生管理資機材を開発し、段階的移行を開始する。 <p>④市場施設内のお魚学習室・調理実習室の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰旋網漁業協同組合及び境港水産振興協会は、整備されたお魚学習室・調理実習室を活用した、料理教室等を企画し、魚食普及を推進する。 <p>⑤漁港・市場を核とした輸出促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者及び市場関係者は、鳥取県と連携し、輸出促進に向けた、海外調査・商談会・物産展の出展、加工場の HACCP 対応等の取組を行う。 <p>⑥高度衛生管理型市場 PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境港高度衛生管理型市場の供用開始に伴い、市場関係者は、広報、宣伝活動を地元や首都圏で行うことで境港に水揚げされる水産物の価格向上を図る。 <p>【漁港の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、港内の安全航行確保並びに出漁日数の確保を図るため、鳥取県に漁港の堆砂浚渫・漁港施設の長寿命化対策を要望する。

漁業コスト削減のための取組	<p>以下の取組により漁業コストを基準年に比べ0.2%削減する</p> <p>【全漁業者】</p> <p>①省燃油活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の漁業者全員が「減速航行の徹底（漁場までの往復の際エンジンの回転数を8割程度に抑制）」、「係留中の機関の停止」、「不要な網等の積載物の減量」、「定期的な船底清掃（年1回程度）」、「低燃費型船底塗料の塗布」、「漁場探索」といった省燃油活動を実施 ・漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進し、燃油高騰に備える。 <p>②省エネエンジン、省力漁労機器の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の漁業者全員が、省エネエンジン、省力漁労機器の導入を検討し、燃油使用量の削減を図る。
活用する支援措置等	<p>もうかる漁業創設支援事業</p> <p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業</p> <p>水産業強化支援事業</p> <p>特定漁港漁場整備事業</p>

(5) 関係機関との連携

特になし

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上26%以上	基準年	平成29年度：漁業所得	千円
	目標年	平成35年度：漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

ヒラメの活魚出荷割合の増加	基準年	平成29年度：活魚出荷割合0.1%
	目標年	平成35年度：活魚出荷割合1%

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

平成31年度に一部供用が開始される、高度衛生管理型市場の活魚施設を利用し、ヒラメの活魚出荷割合を平成29年度の0.1%から1%に増加させる。

	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年
活魚出荷量 (kg)	38.3	95.7	191.4	191.4	191.4
活魚出荷割合 (%)	0.2	0.5	1	1	1

平成25年から平成29年までの平均漁獲量 191,431kg

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業 (国)	○中型いかつり漁船、べにずわいがに漁船、沿岸漁船、養殖漁業運搬船、沖合底びき網漁船の代船建造 ○省エネエンジン、省力漁労機器の導入
食料産業・6次産業化交付金 (国)	○産地一次加工品製造、販売のための機器類の導入 ○水産物直売施設の改修
農山漁村振興交付金 (国)	○水産物直売施設の改修
水産業強化支援事業 (国)	○山陰旋網漁業協同組合所有の冷蔵庫整備
水産多面的機能発揮対策事業 (国)	○アラメの移植による藻場造成
栽培漁業地域支援対策事業 (県)	○ヒラメの種苗放流
栽培漁業ビジネスプラン推進事業 (県)	○アワビの種苗放流
HACCP 対応のための施設改修等支援事業 (国)	○漁港・市場を果樹とした輸出促進